

#06_離れることが嫌になって

「すう…すう…すう…すう…」

「すう…すう…すう…すう…」

「すう…すう…ん、んう…」

「はあ…」

「んっ…」

「寝てる…よね？」

「ふう…よかった」

「あんたが寝てる今だから、言うけど…」

「あんたのおかげで、ここ最近は、ずっと楽しかったよ」

「居心地いいし…ご飯も、温かいし、殴られたりもしないし…」

「愛ってのも…教えてもらったし」

「だから、そろそろここ…出ないと…」

「こんな幸せじゃ、バチ…あたりそうだし」

「ふう…はあ…」

「ん、ちゅう…」

「今まで、本当に…ありがと」

「顔合わせて別れるのは辛いから…起きる前に、出るね…」

「んっ…」

「はあ、ふう…」

「んー…」

「なんでだろ…出ていかなくちゃって、わかってるのに…」

「ん、最後に…1回、1回だけ…」

「あんたの近くで、気持ちよく、させて…」

「はあ、はあ…」

「んっ…ふうっ…ん…ふう…はあ…んっ…んっ…」

「はあ…ん…ん…はあ…んっ…ん…ん…」

「んっ…んっ…ふっ…ふう…んんう、ふう、はあ…」

「…はあ…ふう…ふう…」

「ふう、んっ…んっ…ん…んう…ん…」

「んっ…はあ…ん…ん…はあ…はっ…んっ…んんっ…！」

「はあ、はあ…はあ～…」

「ふう…隣にただで…すぐに気持ちよくなっちゃう…」

「はあ、はあ…んっ！ ん、ふう…んっ…」

「はあ、はあ…ふっ…んっ…はあ、んっ…はあ…はあ…」

「ふう…んっ…はあ…んん、んっ…ふう…はあっ…」

「んっ…んっ…ん…んうっ！ はあ、ん…んう…」

「んっ…ふっ…はっ…ん…ん…ん…ん…んっ…ふっ…んんっ…っ…ふっ…ふっ…」

「はあ…はっ…はっ…ん…ん、ふっ…ん…はっ…ん…んん…ふっ…はっ…ふっ…はあ…」

「はあ…はあ…んん…ん…ふっ…んんっ！ ん…っは、あ…あっ…んん…ふっ…んっ…ふっ…」

「ん…あ…あっ…んっ…あふ…んっ…んん！」

「ふう…はあ…ん…ん…んっ…んんっ…ふっ…ん…」

「んう…んっ！ んっ！ んっ！ はあ…んううっ！」

「はあ、はあ…はあ…ふう…んう…」

「んう…指…はあ、はあ…止まんない…っ！」

「はあ…ん…ん…ん、ふっ…んっ！ んっ、ふう…」

「んんっ…ふっ…はあ、ああ…あ…んあ…はあ…んんっ！」

「んっ、んっ…んあっ、あっ…んう…んっ！ んふう…」

「はあ、はあ…ふ、んくう…んっ、んう…はあ、はあ、はあ～…ふうっ！」

「んっ…んっ…ん…あ、あ、あんんっ…」

「はあ、はあ…ふう…んん、んんん…」

「ん…ふう、ふう…」

「ん…」

「起きて…ないよね？」

「ふう、ふう…」

「はあ…ふう…んっ、良かった…」

「じゃあ、もう少し…もう少しだけ…」

「これで、最後…最後だから…はあ、はあ…」

「ん…んうっ…」

「んう、ふう…ふう…ふっ…んっ…あっ…あっ、んあっ…」

「外、だけじゃなくて…中も…そろそろ…んっ！」

「んっ、あっ…！ んううっ！」

「んっ…んふっ！ ふっう、んっ！ んっ！ んんうう…んんっ！」

「んふう、はあ、んっ…はあ、はあ…はあ…んっ、くう…♡」

「はあ、はあ…んんっ！ ダメ…目の前にいると…んっ♡」

「した時の事…んっ！ 思い出して…はあ、はあ…んんっ！ 感じちゃうっ…♡」

「はあ、はあ…んんっ！ んっ！ んう！ ふう、ふう…んんっ！」

「はふう、ふう、ふう…んんっ、でも…はあ、はあ…んっ…うう…」

「指だと…んっ、んんっ…奥まで、届かないよお♡」

「はあ、はあ…んんっ、ふう、ふう…♡ んっ！ はあ、はあ…ああ…んっ♡」

「はふう、ふう…ふう…挿れて…欲しい…んんっ…けど…はあ、はあ♡」

「そんな、わがまま…言っちゃ、ダメ…だもんね…はあ、はあ…ふうっ！ んんっ！」

「んんっ！ 私、どうして…んんっ！ こんな事…言うように…

はあ、はあ、なっちやっただろう…んんっ！」

「んんっ！ はあ、ふっ！ んんっ！ んっ！ んんう♡ んっ！ んっ♡」

「んう…ふう、ふう…んんう、んっ！ んっ！ はあ、はあ…ふう♡」

「もう少しだけ…もう少し…だけえ♡ はあ、はあ…んっ♡ はあ…ふうう♡」
「んんう！ んう！ あっ…はっ！ んっ！ んんっ！ ああっ、ふう…ふうっ！」
「あうっ…んんっ、ふう、ああっ、ん…！ ああ…んんっ！」
「んう…あっ…あふっ、あっ…ああっ…んっ！ んう！ あっ！ あっ！」

「中…ダメ…んんっ！ 気持ちいいの…止まら…ないっ…んんっ！」
「んんっ…すう、はあ…ああ…はあ、はあ…ああ…んっ！ んんっ！」

「はふう、ふう…んん、もう…声…んんっ！ 抑えるの…んんっ！ 無理い…」
「ああ、はあ、はあ…はあ、ふう…んんっ♡」
「んんっ！ んん！ んあっ！ ああっ！ あっ！ んんっ！ んっ、んっ、んんっ！」
「はあ、はあ…あうう…んっ…んんっ！」

「はあ、はあ、はあ、んんっ！ ああ、ああっ…んんっ！」
「んんっ、ふう、はあ…はっ、はっ…！ はあ、ふう…んんっ…ふうう♡」
「もう…はあ、はあ…あっ、あっ、あっ…ダメえ…♡」

「んっ…んんっ♡ んんんっ…くうううう～～～っ…！」

「んんんっ♡ んんっ♡ んんっ、んんん～♡」
「はふう、ふう、ふう…んんっ…ふううう♡」
「はあ、はあ、はあ…んんっ♡ ふう、はあ、ふう…」

「はあ…んんっ、私…1人で…んんっ♡ こんなこと…今まで、なかったのに…」

「んっ…やっぱり、私…変えられちゃったんだ…」